

身近な3Rの取り組みで経営・環境の改善しませんか？

ごみ分別資源化によるコストメリットの一例

1 tのごみを処理委託した場合に発生する処理費用



柏市ごみ減量マスコットキャラクター クリンちゃん



①こんな取組いかがですか？～市内事業者の好事例を紹介～

柏市では実際に事業所を訪問し、ごみの排出状況や現場での取組を確認しています。訪問した中で簡単に取り組むことができ、3Rにもつながる取組を紹介します。

1. ざつ紙を分別で可燃ごみ量を削減

訪問時に可燃ごみに一緒に入っていることが多かった「紙」段ボールやオフィスペーパー以外も**分別すれば資源**になります。商品の外箱や封筒、包装紙といった「ざつ紙」は資源化を！

ざつ紙分別のイラストイメージ



集積所にざつ紙の品目を分かりやすく**写真やイラスト**で示す事業所もありました。



2. 意外なプラごみ削減！？～傘袋をしずく取りに変更～

雨が降った時に設置している傘袋スタンド、捨てられた袋がごみ袋からあふれ、クレームや後片付けが大変なことに…なんてことはありませんか？しずく取りに変更することで**ビニール袋を捨てる手間や処分コスト減**につながることが期待されます。



一部市の施設でも導入しています

市の施設での使用感を伺うと傘袋と大差ないとのことでした。
メンテナンスの手間もあまりないのも良い点です



②自社の取組アピールしませんか？～3R推進事業所・推進店制度～

柏市では3Rに積極的に取り組んでいる事業所・店舗を**3R推進事業所・推進店**として登録しています。この制度を活用し、自社の環境にやさしい取組を市を通してアピールしてみませんか？

詳しくはこちらから



同封の印刷物に、この制度を活用した(株)斎藤英次商店の取組事例が載っているのをご覧ください！